

美唄市財政健全化計画等のポイント

<p><新たに策定した計画> 美唄市財政健全化計画 ~コスト削減、収入確保等の方策により市の財政立て直しを図る計画です。</p> <p>市立美唄病院改革プラン ~市立美唄病院の経営の立て直しを図る計画です。</p>	<p><見直した計画> 美唄市自立推進計画〔平成20年度見直し版〕 ~美唄市が自立していくための計画を左の内容に合わせて見直しました。</p> <p>美唄21世紀まちづくりプラン後期基本計画〔平成20年度見直し版〕 ~美唄市の総合計画を左の内容に合わせて見直しました。</p>
--	---

1 なぜ、4つの計画が必要なのか

市立美唄病院の累積不良債務（赤字）を返さなければなりません。

23億円（このうち、21億円を一般会計から支援します。）

そのための計画（市立美唄病院改革プラン）が必要です。

今後、市の財政に収支不足（19億円）が生じ、市立美唄病院への支援と合わせて40億円に上る額についての緊急対策を行わなければなりません。

そのための計画（美唄市財政健全化計画）が必要です。

また、これに伴い、既存の2計画（美唄市自立推進計画・美唄21世紀まちづくりプラン後期基本計画）を見直しました。

2 対策を取らないとどうなるのか

市立美唄病院は、将来的に経営を継続できなくなります。

市は、平成20年度決算で「早期健全化団体」、平成23年度決算で「財政再生団体」となり、国の管理・指導を受けます。

3 どのように乗り切っていくのか

市立美唄病院は、経営改善や他の医療機関との連携を図っていきます。

市は、歳出の大幅削減、歳入の確保を確実に実施します。

4 いつから何をやるのか

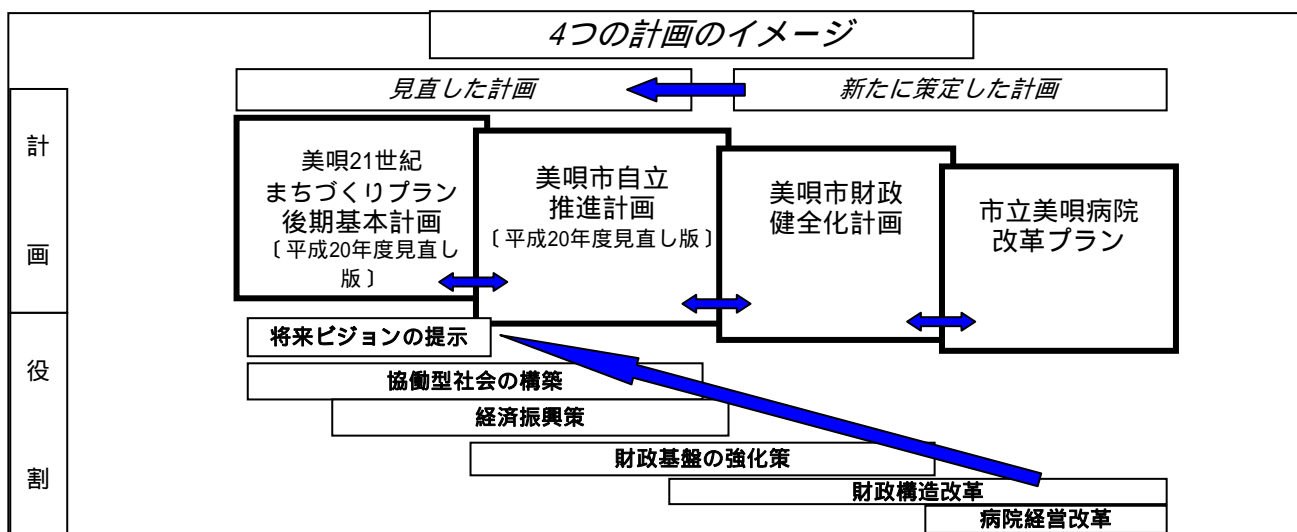
市立美唄病院は、今年度、公立病院特例債を発行し、赤字を7年間で返します。

市は、市立美唄病院事業会計を支援しながら、今年度から財政健全化対策を進めます。

5 いつになったら財政健全化が実現するのか

市立美唄病院は、平成23年度を目標に経常黒字を実現します。

市の財政は、平成27年度を目標に財政健全化を実現します。



美唄市財政健全化計画のポイント

背景

- ・国の経済対策等による公共投資の拡大（特に平成10年度以降） 地方債残高の増加と公債費負担の増大
- ・三位一体の改革による地方交付税の激減 平成15年度と19年度の対比で約11億円の減少
- ・「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の健全化判断比率の適用（平成20年度決算）
一般会計実質収支赤字1億2,828万円 病院事業会計累積不良債務23億4,950万円 など

計画期間等

平成20年度～平成27年度（8年間） 進行管理（毎年度見直し）

財政健全化に向けた基本方針

- ・一般会計から病院会計へ不良債務（特例債含む）解消の繰り出し（H21から合計21億円）
- ・一般会計実質収支の黒字化（H21から）
- ・H21からH27の収支不足（不良債務解消分含む約40億円）を歳入・歳出全般見直しなど行財政改革の取り組みにより捻出
- ・計画全期間で健全化法の各指標を早期健全化基準以下
- ・財政健全化を図る一方、福祉、環境、交流、経済振興を重点に、市民と連携・協働し、総合計画に掲げる「人かがやき 夢ひろがる 美しき唄のまち」の実現に向けて取り組む

財政健全化の具体的項目における効果額

【効果額総額 40億6,208万円】

・給料等の見直し【効果額 29億4,558万円】

特別職給与削減
（市長30%、副市長・教育長20%削減）
議員報酬等の見直し
（約12%削減、常任委員会行政視察の凍結）
一般職給与削減（平均14.6%削減）
職員数の削減（早期勧奨退職20名）
職員福利厚生会負担金の廃止

・歳入の確保【効果額 5億1,557万円】

市税引き上げ
（固定資産税税率1.45% 1.50%、
軽自動車税現行の1.2倍）
負担金、使用料、手数料等の引き上げ
（へき地保育所保育料、市民会館使用料、
ピパオイの里プラザ使用料、
公営住宅駐車場使用料、幼稚園保育料、
体育施設（総合体育館）使用料、
事業系ごみ処理手数料、し尿くみ取り手数料、
学校開放事業利用者負担導入）
市税等収納対策強化（滞納処分強化など）
財産収入の確保（未利用財産の処分・活用等）

・公共施設の効率的運営【効果額 2億2,492万円】

廃止等（地域生活館、営農改善センター、開拓婦人ホーム、中央駐車場、中央幼稚園、勤労青少年ホーム、地域体育館、体育センター）
統合等（へき地保育所（中村みのり・茶志内双葉）、小学校（光珠内中央・峰延）、幼稚園（三井美唄））
その他（職員駐車場有料化）

・事務事業の見直し【効果額 4,188万円】

廃止（季節労働者就労対策事業、奨学資金貸付事業）
新設（北海道中央コンピュータ・カレッジ奨学資金貸付を継続）

・補助金の見直し【効果額 8,752万円】

団体補助
廃止（交通安全協会、美唄市教育研究協議会）
減額（社会福祉協議会、美唄市老人クラブ連合会、そらち森林組合、大規模冷温食糧備蓄構想推進協議会、美唄観光物産協会、美唄市子ども会育成連絡協議会）
事業補助
廃止（防犯活動事業、環境美化促進事業、畑作生産振興事業、美唄自然エネルギー研究事業、子どもの夢づくり事業）
減額（専修大学北海道短期大学振興助成事業、美唄市交通安全3ゼロ運動推進事業）

その他の財政健全化策【効果額 2億4,661万円】

（庁舎清掃・自転車駐車場管理等の直営化、業務委託の見直し、その他事務事業の見直し、内部管理経費縮減）

市立美唄病院改革プランのポイント

背景・目的

- ・医師の偏在に伴う医師不足、診療報酬の引き下げ改定などの環境の変化により、市立病院の経営は非常に厳しい状況にある。
- ・国の「公立病院改革ガイドライン」に基づき、安定かつ継続的に医療を提供する観点から、市立美唄病院の役割を明らかにすると共に、病院経営の効率化に向けた取り組みをプランとしてとりまとめたもの。

プランの期間等

- ・平成21年度～平成23年度までの3年間で経営の効率化による経常収支の黒字化を図る期間。
- ・平成20年度～平成27年度までの8年間で平成19年度末における不良債務の解消を図る期間。

市立病院の果たすべき役割

- ・診療科及び診療体制 現行の医療体制を最低限確保すると共に、市内で唯一の救急告示病院として、医師会の協力のもと、救急医療を担う。
- ・市民の医療ニーズに、より適切に対応して行けるよう、内科医師の確保を図り、内科の入院再開を目指す。

一般会計による経費負担

- ・総務省通知を基本として行う基準内繰出しのほか、平成20年度に公立病院特例債（8億3,920万円）の借入を行い、平成19年度末不良債務（23億4,950万円）の一部解消を図るとともに、特例債借入後の不良債務残高及び特例債償還に当たっての財源を平成21年度から平成27年度までの7年間で総額21億円の繰り出しを計画的に行う。

経営の効率化に係る数値目標と目標達成に向けた具体的取り組み

- ・経営効率化に係る数値目標の設定
 - 経常収支比率 平成23年度 100.3%（単年度黒字化）を目指す。
 - 職員給与比率の引き下げ 60%前半を目指す。
 - 病床利用率の引き上げ 70%以上を目指す。
- ・事業規模、形態の見直し 許可病床数の削減
 - 現行143床（一般98、療養45） 98床（一般53、療養45）
- ・経費削減、抑制対策 職員給与費（医師を除く）平均14.3%削減。 材料の共同購入検討。
- ・収入増加、確保対策 地域連携の強化による療養患者の確保。美唄脊損センターからの透析患者の受入

再編・ネットワーク及び経営形態見直しに係る計画

- ・南空知地域自治体病院等広域化・連携検討会議並びに美唄市地域医療庁内検討委員会及び美唄市地域医療に関する懇談会において協議検討されることから、この内容を踏まえ、H25年度までに一定の結論がえられるよう進める。

点検・評価・公表等

- ・点検・評価は毎年6月末頃実施予定。・公表は毎年11月市広報紙で公表予定。

美唄市自立推進計画〔平成20年度見直し版〕のポイント

この計画は、美唄市が市町村合併について議論をして、合併ではなく自立を決めたときに、将来にわたってまちが自立していくための方策をまとめたものです。

ポイント1

今、美唄のまちを取り巻く動きとそれを踏まえた自立のための方向や目指す姿を整理しました。

<環境の変化>

国の制度の影響で市の財政状況が悪化しています。国では地方に権限を移そうとしています。北海道経済がなかなか回復できません。食に対する不安や不信感が大きくなっています。地球温暖化防止のためCO2削減が必要です。市民と行政が協力し合った活動が広がっています。

<目指す姿と今後の方向>

分権型社会にふさわしい自治の実現
まちの活力づくり
機動的な市役所づくり
財政健全化

ポイント2

新たに取り組まなければならない項目を追加しました。

人件費の抑制（職員数・給与の削減）
公共施設の見直し（効率的運用や統廃合など）
補助金の見直し（原則廃止）
収入の確保（市税の引き上げ、徴収強化など）
協働のまちづくり

ポイント3

将来の財政の見直しを見直しました。

「財政健全化計画」に合わせ、市立病院の累積債務（借金）を返しながら、市の財政も収支均衡となるよう将来見直しを見直しました。

美唄21世紀まちづくりプラン後期基本計画 〔平成20年度見直し版〕のポイント

この計画は、美唄市の最上位計画として、将来のまちづくりの方向をまとめたものです。

ポイント1

将来の財政の見直しを見直しました。

「財政健全化計画」に合わせ、市立病院の累積債務（借金）を返しながら、市の財政も収支均衡となるよう将来見直しを見直しました。（上のポイント3と同じものです。）

ポイント2

必要な事業を追加しました。

H20予算の新規事業である「救急救命士養成事業」「リサイクルセンター整備事業」「小学校社会科副読本編成事業」などをこの計画に追加しました。

ポイント3

取りやめる事業などを決めました。

「市営駐車場管理事業」「防犯活動補助事業」「畑作生産振興事業」「季節労働者就労対策事業」「標準学力検査事業」「勤労青少年ホーム管理運営事業」などをやめます。